



2018年トレンド予測

婚活領域

『ゼクシィ縁結び』のご紹介

ゼクシィの婚活サイト
『ゼクシィ縁結び』

ゼクシィ縁結び

『ゼクシィ縁結び』の姉妹サービス
『ゼクシィ恋結び』

ゼクシィ恋結び

ゼクシィの婚活相談カウンター
『ゼクシィ縁結びカウンター』

ゼクシィ縁結び カウンター

ゼクシィがプロデュースする
恋活・婚活イベント
『ゼクシィ縁結びPARTY』

ゼクシィ縁結び PARTY

ネット・アプリ・カウンター・パーティーの4業態で
年間60万人以上が利用

いまどき婚活世代が恋愛で大事にするのは「自分に合う」こと。
だから、オンラインで出会い、幸せをつかんだ人に共通していたのは、
自分を包み隠さず「さらけ出している」ことでした。

お見せ合い婚

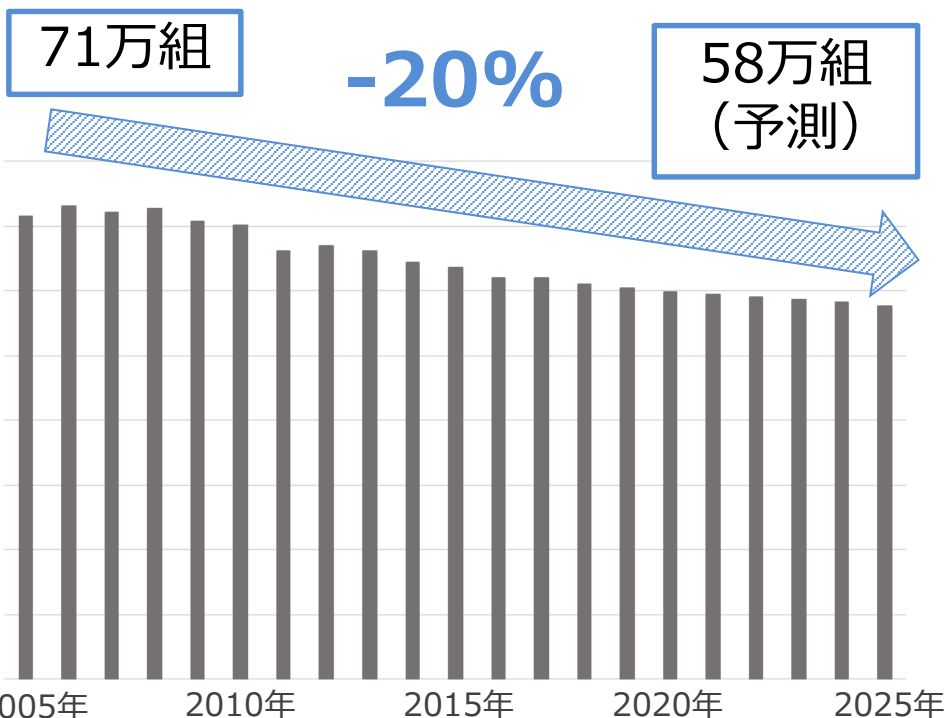
婚活の中心世代は、多様な価値観を持ち、
SNSを使いこなして自己表現することも当たり前です。
オンラインでの出会いにも抵抗がなく、
恋人に求めるのは「自分に合うこと」という、絶対評価の恋愛観を持っています。

リアルの世界と比べて出会いの数がケタ違いな分、
これまで公表していなかったプロフィールやニッチな趣味でもマッチする可能性が向上。
「自分をさらけ出す」ことが「自分に合う人」に出会うための必須条件なのです。

2018年以降、オンライン上で多様な自己開示を通して、
「お見せ合い婚」をする人が増えると予測します。

婚姻組数減少の一方、隠れ結婚ニーズは700万人超え

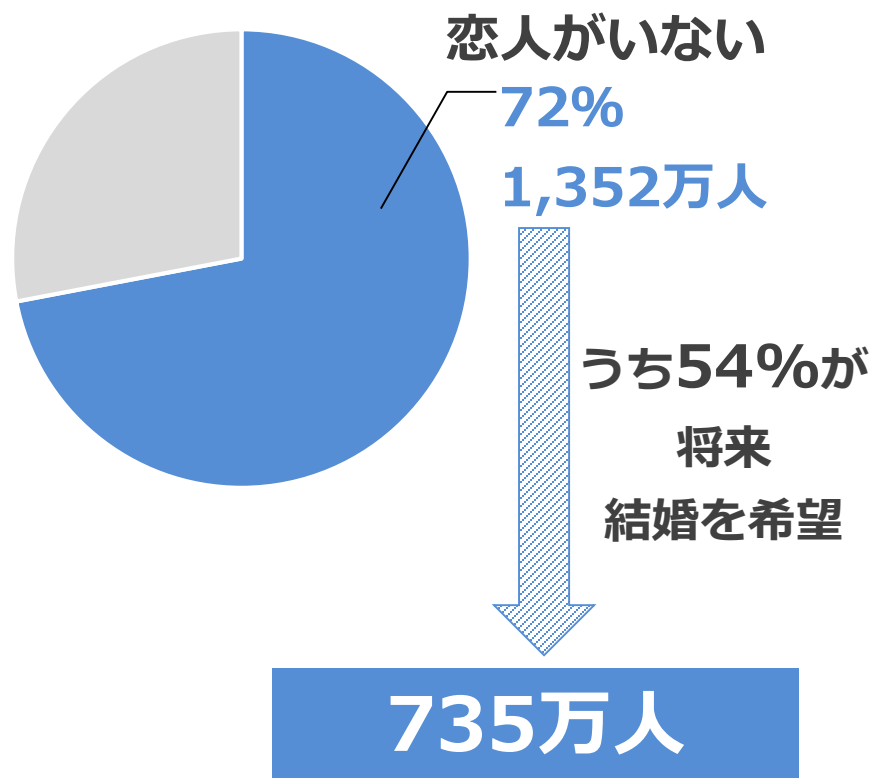
日本の婚姻組数推移（2017年以降は予測）



リクルートブライダル総研 婚姻組数予測（2017年9月更新）

結婚意思はあるが
恋人のいない男女の人数

未婚男女（20～40代）・約**1,875万人**



2015年国勢調査

恋愛・婚活・結婚調査2015（リクルートブライダル総研調べ）

恋人がいない割合 n=1,204, 結婚意向の割合 n=868

恋人がいない理由1位は男女ともに「出会いがないから」

恋人がいない（できない）理由

男性 **44.9%**

出会いがないから

異性に対する魅力に
自信がないから

異性との出会いの
場所が分からないから

経済的な問題が
あるから

どのように声をかけてよいのか
分からないから

女性 **57.8%**

出会いがないから

異性との出会いの
場所が分からないから

今は好きな人が
いないから

コミュニケーション力に
問題があるから

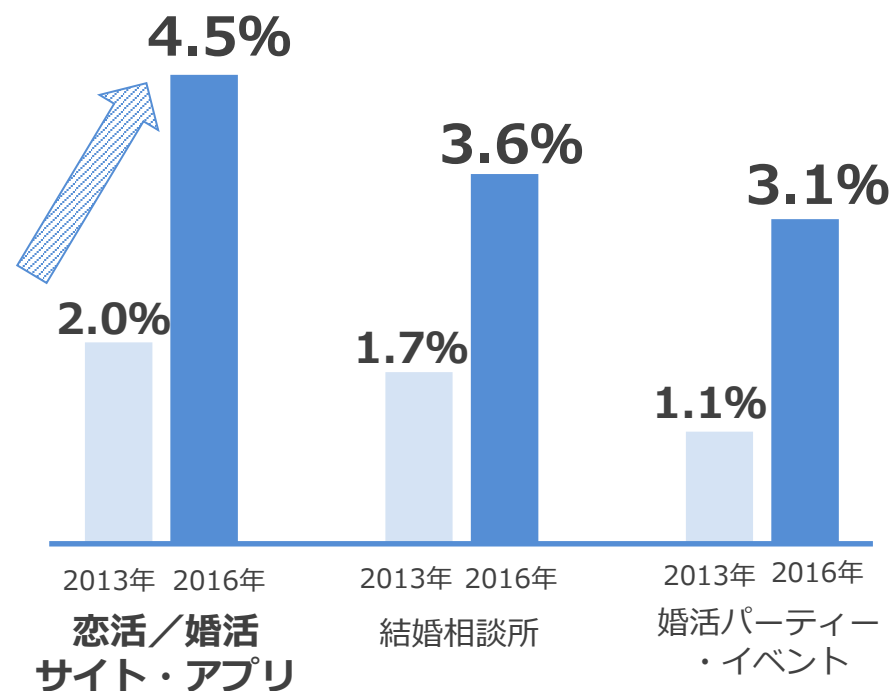
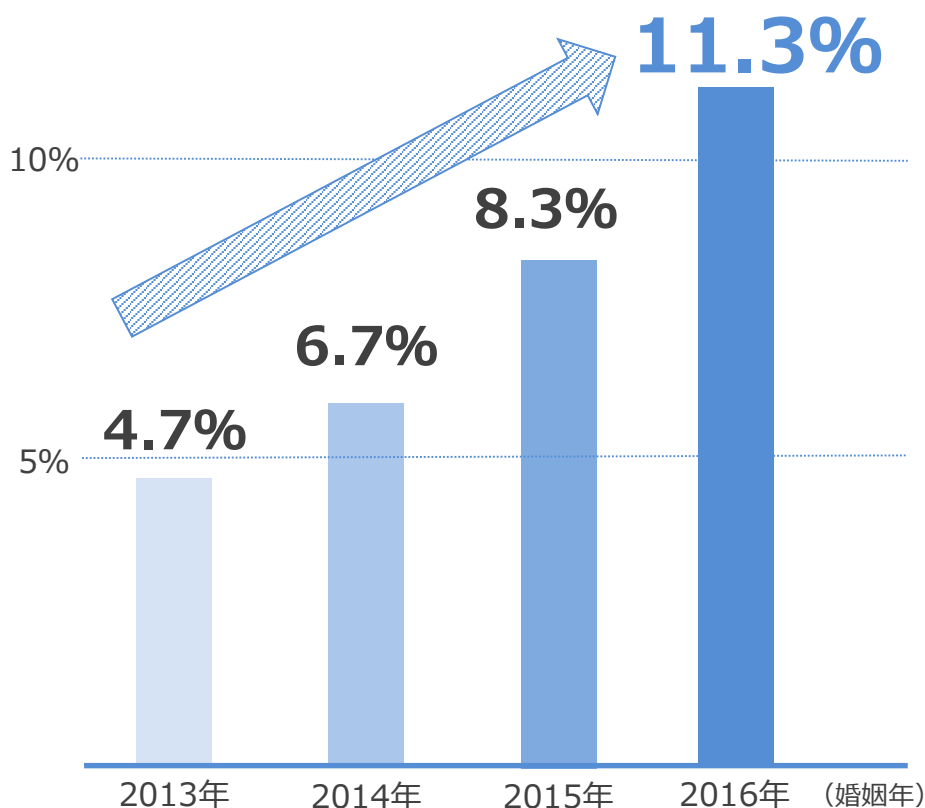
異性に対する魅力に
自信がないから

婚活サービスで出会って結婚する人が年々増加

現在約9組に1組（11.3%）は婚活サービスを通して出会った人と結婚しており、そのなかでも恋活／婚活サイト・アプリ利用者の結婚した割合が最も高い。

婚活サービスで出会った人と
結婚した人の割合

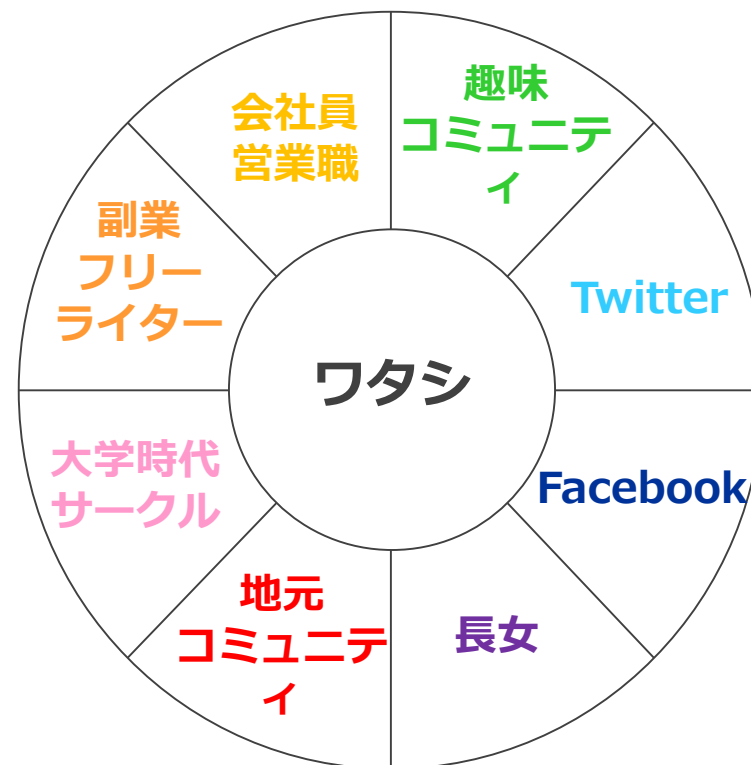
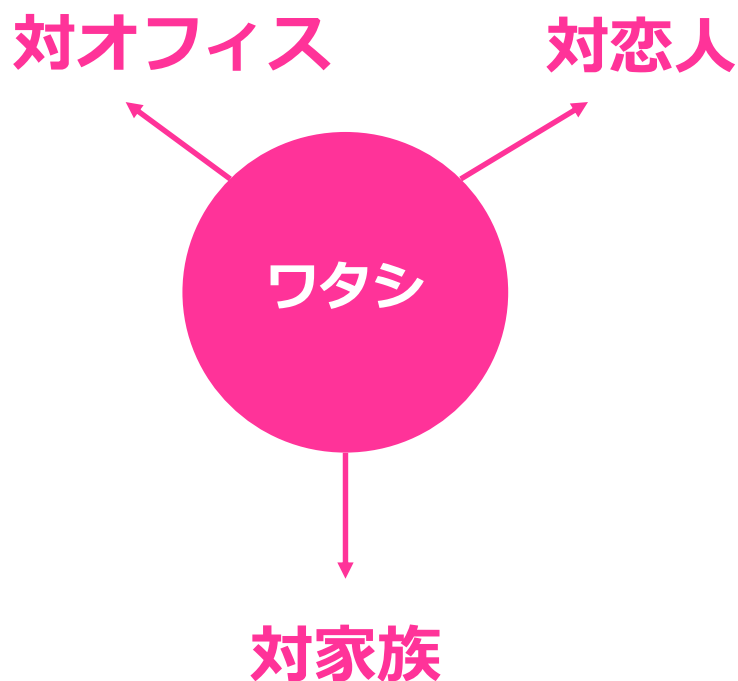
どの婚活サービスで出会ったか



婚姻年2013～2015年:婚活実態調査2016（リクルートブライダル総研調べ）
2013年 n=1,742, 2014年 n=1,724, 2015年 n=1,717
婚姻年2016年:婚活実態調査2017（リクルートブライダル総研調べ）n=1,146

婚活をしている中心は「一人十色」を地でいく世代

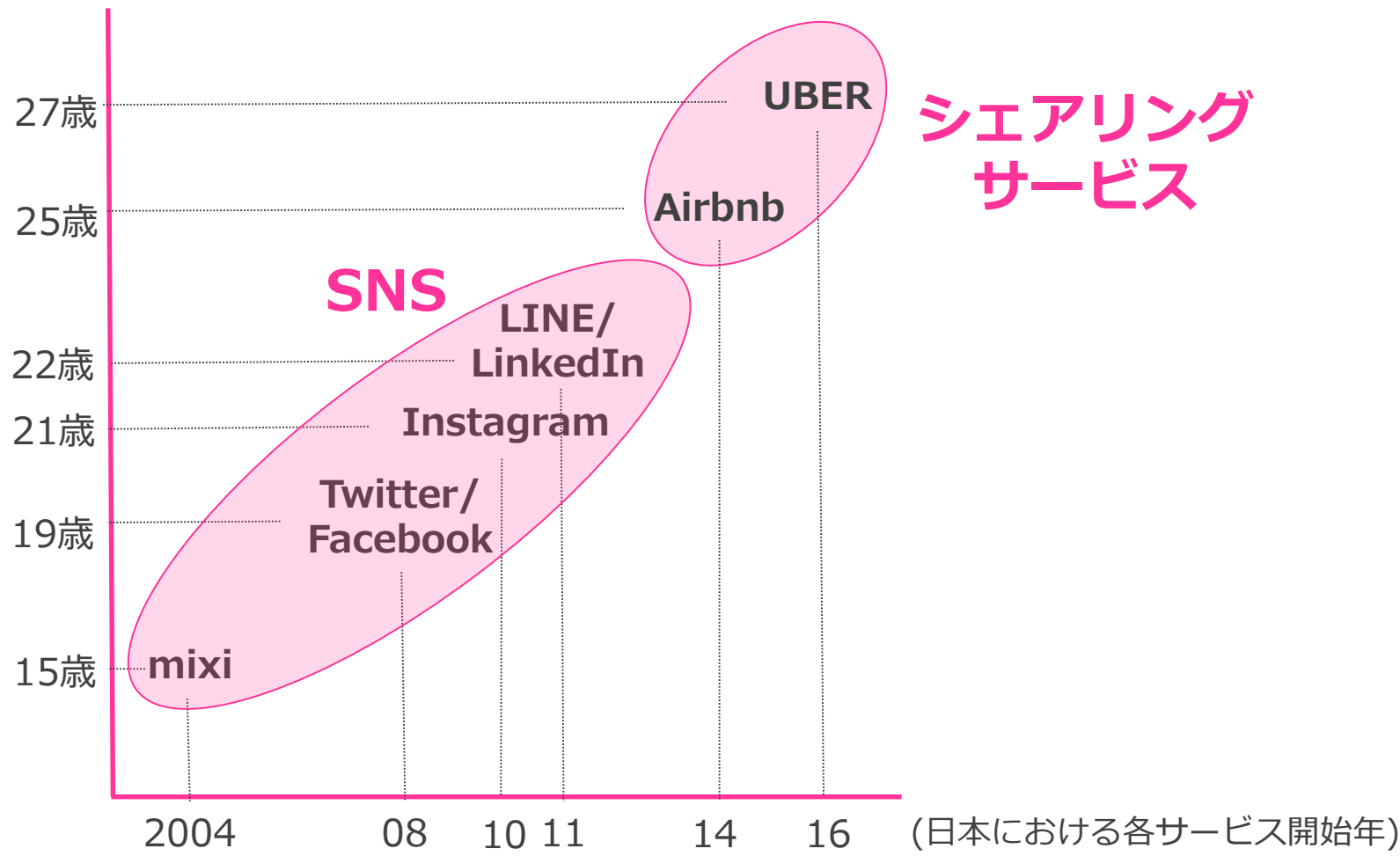
婚活の中心世代（20代前半～30代後半）の価値観は、
一人ひとりが色々な顔・コミュニティを持つ「一人十色」が当たり前。



オンライン上で自分を表現することに抵抗がない

学生の頃からSNSを使いこなし、さらにSNSごとの自分の色を使い分けるなど、
オンライン上で自己表現・自己開示することに抵抗がない。

例えば28歳の場合…



結婚相手を「自分に合うか」基準で絶対評価する

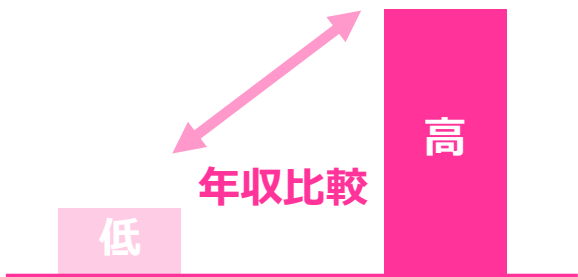
結婚相手に求める条件は？

バブル期

3 高 (高収入・高学歴・高身長)



一般的な価値観に照らして
相手を「**相対評価**」する



現在

自分に合うこと



自分の価値観に照らして
相手を「**絶対評価**」する



オンライン上で
自分の「色」をさらけ出して
“お見せ合い”していた

オンラインで出会い、結婚したカップルの“お見せ合い”事例

「Instagram婚」カップル



- ・ **利用サービス**：SNS
- ・ **お見せ合いポイント**：野球専用のアカウントをつくり、同じ趣味を持つ人と交流。
- ・ **交際のきっかけ**：偶然同じ日に同じ試合を見ていて、球場で初めて顔を合わせた。

婚活サイトで出会ったカップル



- ・ **利用サービス**：婚活サイト
- ・ **お見せ合いポイント**：離婚歴有りでシングルマザー、という情報を婚活サイト上に公表。初めて会った時も子供と一緒にだった。
- ・ **交際のきっかけ**：シングルマザーであることを恥じず、堂々としていたところに惹かれた。

自分の「色」をさらけ出し、人生で初めて彼女ができた男性の事例



- 29歳（フリーコンサルタント）
- 28歳まで彼女なし。マッチングアプリマニアのクライアントのすすめで自身もマッチングアプリの利用を開始。

- **利用サービス**：婚活アプリ
- **お見せ合いポイント**：
 - ✓ プロフィールの欄には、文字数上限いっぱいに関情入を、れ、「自分という人となり」を感じてもらえるように工夫。
 - ✓ プロフィール内容を改善するとマッチング数が上がるこが分かったため、300回ほど書き直しを行った。
 - ✓ 真面目な女性があうとじていたため、たくさんの情入をきちんと読んで連絡をくれる人を探した。
- **結果**：開始1年で70人と出会い、人生で初めての彼女ができた。

オンラインでは自分の色を余すことなく“お見せ合い”できる

オンラインだからこそ、「多面的な自己開示によるマッチング」が可能に。
つまり、“お見せ合い”の量が、マッチングの数に繋がる。

リアルな出会いの世界 例：合コン



限られた時間の中で
限定的な情報しか伝えられない

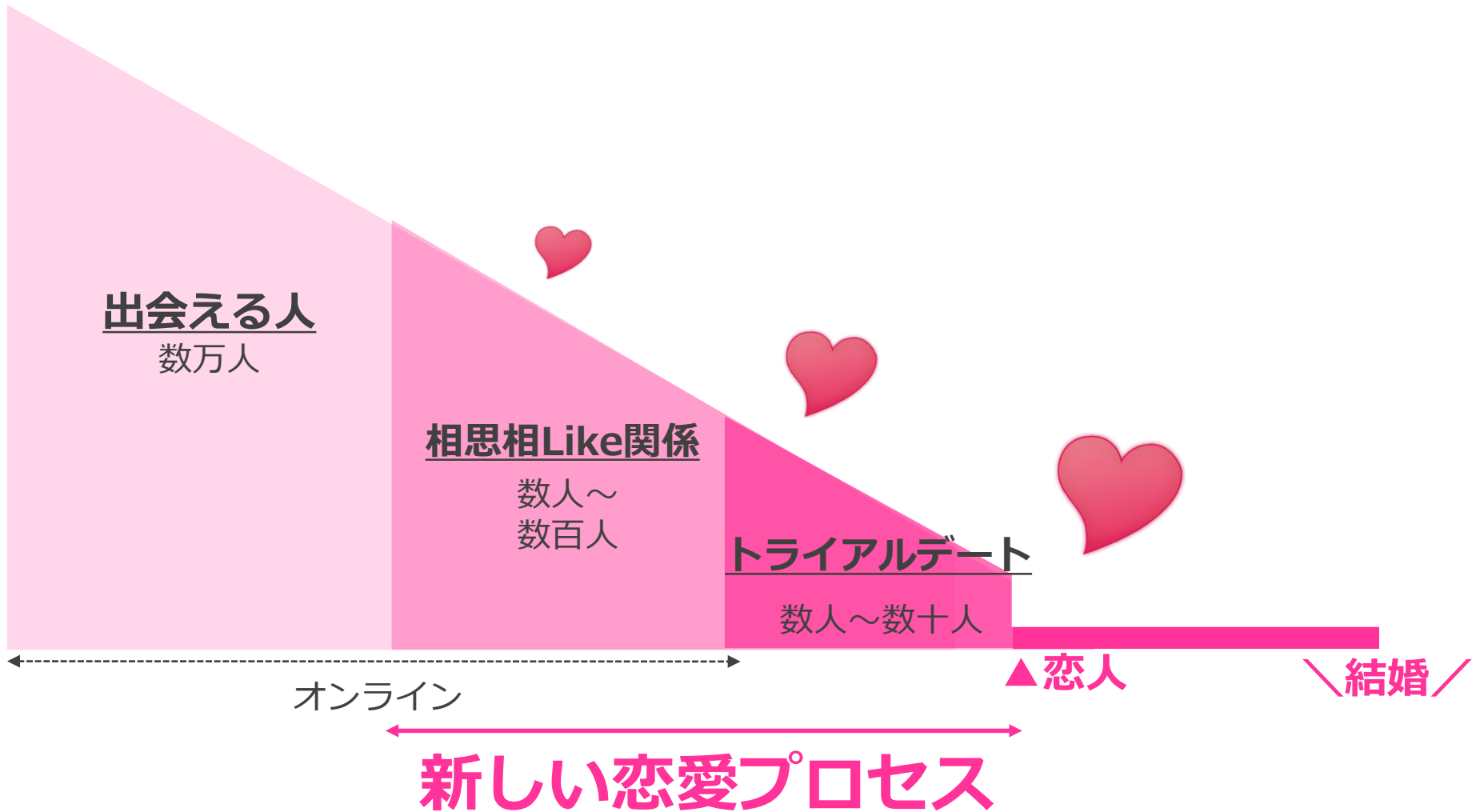
オンラインの出会いの世界



自分の情報を余すことなく伝えられ、
誰が自分のどんなところを
「いいね！」と思うか分からない！

“お見せ合い”で多くの人と出会い、自分に合う人を探せる

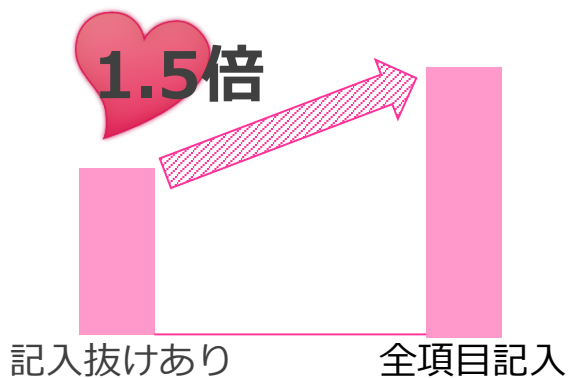
オンラインでは恋愛プロセスが変化。出会える人数がケタ違いに増えた分、“お見せ合い”によってマッチングした「相思相Like」な関係の中から、数人～数十人との「トライアルデート」を通して、相手をさらによく知った上で交際に至る。



開示することで“お見せ合い婚”が増える兆しデータ

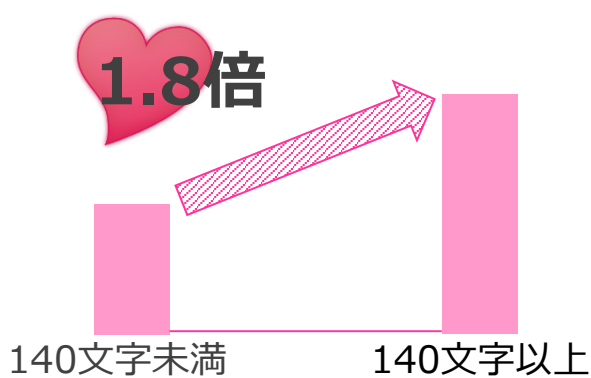
開示情報が多いほど、マッチング量と質が向上し、
オンラインでの出会いが結婚に結び付く可能性が高くなる。

プロフィール項目



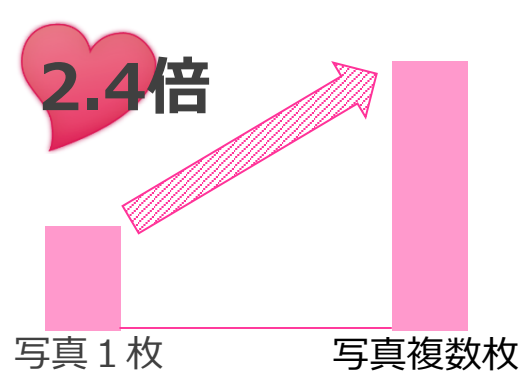
いいね! 取得
1.5倍

自己紹介文



いいね! 取得
1.8倍

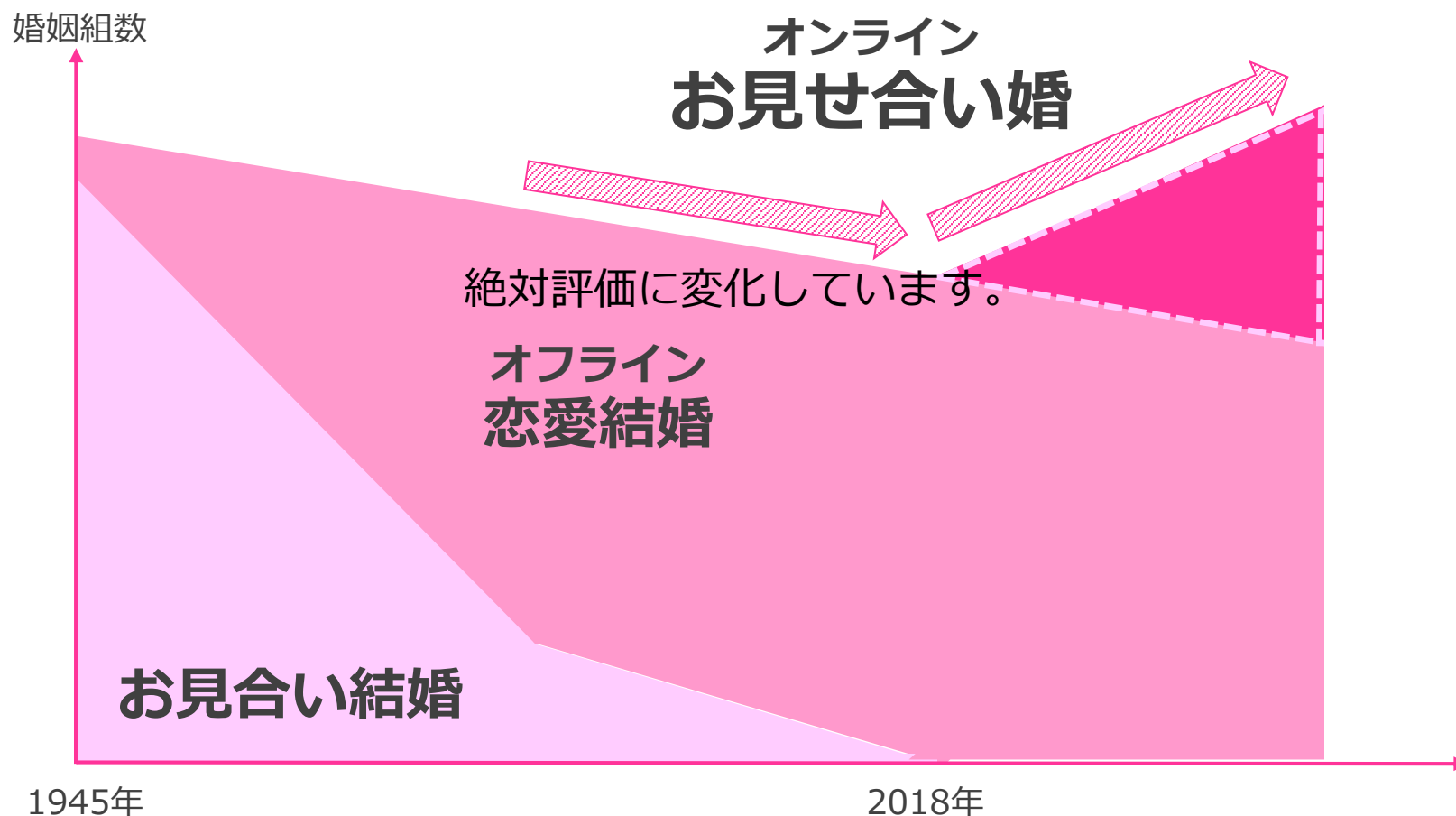
写真



いいね! 取得
2.4倍

“お見せ合い婚”が婚姻組数に与える影響

2018年以降、婚活／恋活サイト・アプリで出会って“お見せ合い婚”をするカップルが増えていけば、婚姻組数のV字回復が望める可能性も！



いまどき婚活世代が恋愛で大事にするのは「自分に合う」こと。
だから、オンラインで出会い、幸せをつかんだ人に共通していたのは、
自分を包み隠さず「さらけ出している」ことでした。

お見せ合い婚

婚活の中心世代は、多様な価値観を持ち、
SNSを使いこなして自己表現することも当たり前です。
オンラインでの出会いにも抵抗がなく、
恋人に求めるのは「自分に合うこと」という、絶対評価の恋愛観を持っています。

リアルの世界と比べて出会いの数がケタ違いな分、
これまで公表していなかったプロフィールやニッチな趣味でもマッチする可能性が向上。
「自分をさらけ出す」ことが「自分に合う人」に出会うための必須条件なのです。

2018年以降、オンライン上で多様な自己開示を通して、
「お見せ合い婚」をする人が増えると予測します。